

富岡八幡宮鎮座四百年記念事業

来る令和9年、富岡八幡宮は御鎮座四百年を迎えます。

このよき年を祝し、次の百年さらに祭祀の厳修を図り、この地域の氏神神社として、また江戸・東京に名にし負う神社としての役割をはたしていく基となるように、次のような御鎮座四百年記念事業を展開してまいります。

客殿の新築

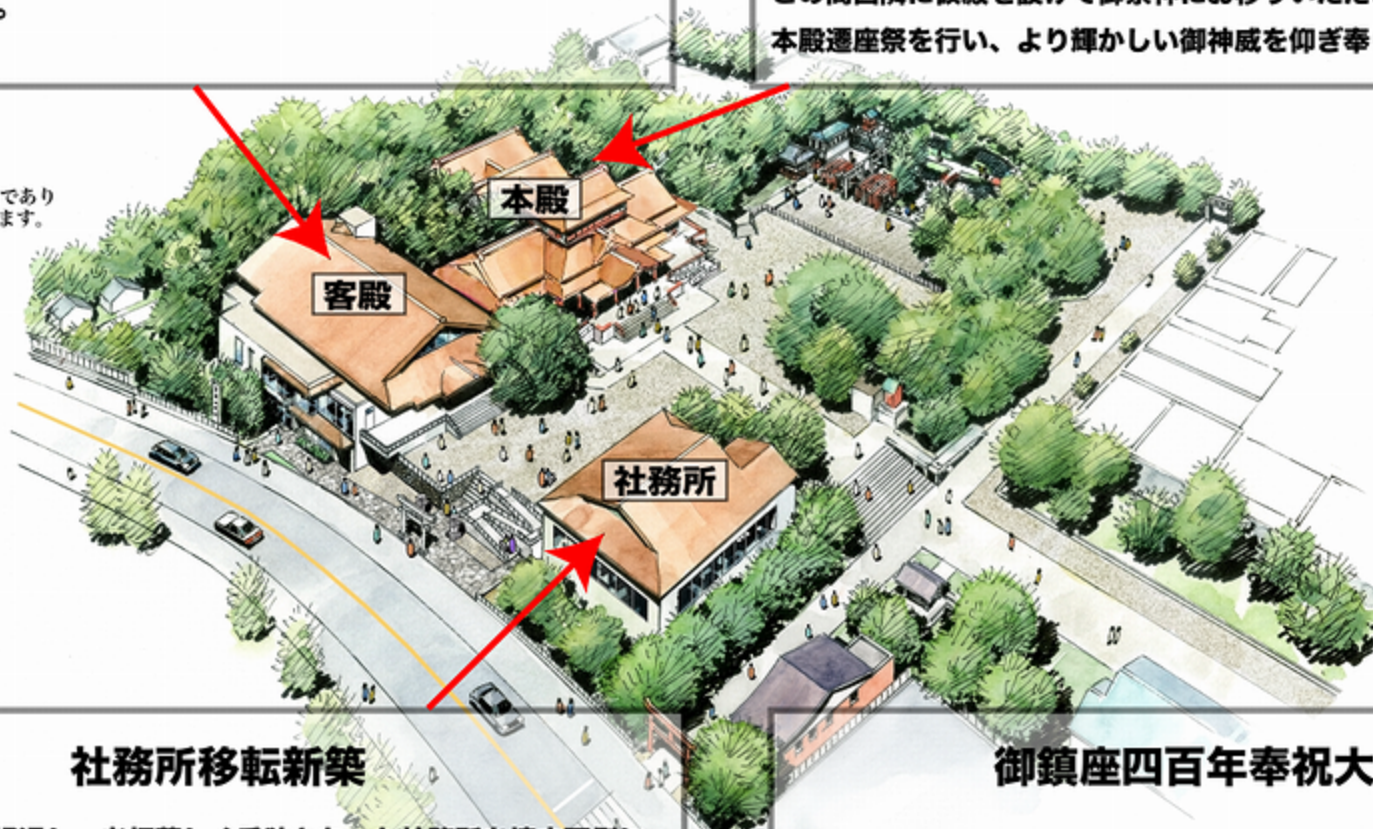
御本殿大修理に先立ち御本殿西隣に客殿を新築し、御本殿修理中は仮殿とし、御本殿竣工後はご参拝の皆様控室や、直会場等として使用いたします。

御本殿大修理

建築後70年が過ぎようとしている御本殿の耐震補強工事、お屋根の葺替え工事、内外装工事等を施します。
この間西隣に仮殿を設けて御祭神にお移りいただき、完成の晩には本殿遷座祭を行い、より輝かしい御神威を仰ぎ奉ります。

完成予想図

令和5年時点での予想図であり変更となることもございます。



社務所移転新築

建築後70年を経過し、老朽著しく手狭となった社務所を境内西側に新築移転し、今後の神社の活動の拠点といたします。
また現社務所は解体し、御本社から井天池にかけて広々としていた戦前の境内を取り戻します。(この事業は御鎮座四百年記念大祭後の実施となります)

御鎮座四百年奉祝大祭

令和9年8月、御鎮座400年をお祝いする大祭を氏子崇敬者の皆様と共に執り行い、御本社一の宮神輿渡御を行います。

皆様のご理解とご協力切にお願い申し上げます。

これに伴う下記の整備工事を令和6年2月14日より行います。

樹木の伐採と植替え・石造物の移設など。